

## 今月も新型コロナのこと

連日、テレビのニュースは新型コロナの話が主ですね。世界的にも患者数や死亡者数も激増しており、**ヨーロッパ諸国では再びロックダウン**している都市が増えてきました。クリスマスシーズンを迎えて消費者も事業者も先行き不安な日々を送っていると推察されます。

日本も1日の新規患者数が3,000人を超えてきました。重症者数も500人以上となり、コロナを受け入れている**病院は医療崩壊寸前**と言われてきています。

常識的には、なぜ政府はGo Toキャンペーンをすぐに中止しないで、もたもたしているかと疑いたくなりましたが、新型コロナ感染以上に経済の落ち込みが念頭にあると思われる。(書いている間にいったんGo Toは中止になりました)

消費者経済総研によると、10月初旬で新型コロナが原因で自死した人は1,113人になり、新型コロナで直接亡くなった人は796人でした。

警視庁が集計した10月の自殺者数は、2,153人で前年同月比約40%の増加です。新型コロナ起因以外も含まれていますが急増しています。

「**コロナうつ**」という言葉もできました。直接的な新型コロナ感染の不安よりもコロナ禍において様々な精神的ストレスが関わっているものと推測されます。

さて、これまでも本田 健氏の著書の内容を紹介してきましたが、ウィズコロナからアフターコロナのことを

考えて人生設計を立て直さなければ、今後生活していくのが困難になると思われます。

これから生まれる新しい産業として

① **eラーニング・セミナー事業**：前年比4.5%増えると予測して、すでに法人、個人向けの利用者が増えており、市場は拡大傾向にあるようです。

② **カウンセラー、コーチ業**：コロナ禍の影響で、精神面での不調をきたす人が増えています。(株)cotree(コトリー)は、オンラインでカウンセリングを実施しており、利用者も増えているようです。ビジネスの専門知識を有したコーチが不足しています。

③ **VR(Virtual Reality)エンターテインメント業**：限りなく実体験に近い体験(リアル感)が得られる映画やアーティストのコンサートなどです。スキルという観点からは、VRの技術的なことをやるか、VRでコンテンツを制作するかなど、いろんな方向性があります。

その他にも**AI、ロボット産業、フィットネス産業、通販、デリバリー産業**などがあります。

新型コロナ以前の状況にはしばらくなりそうもありません。ニューノーマルという言葉通り、時代に即した新しい生き方が問われています。来年2021年が良い年でありますように！

(本田 健「2021年をどう生きるか？」を参考にしています) (院長)